

フォーラム No. 1 (1991) 目次

鈴木重吉「巻頭言」 p.1.

野依昭子「ホーソーンの「優しい少年」における修正について」 pp. 3-11.

鈴木元子「『緋文学』研究——ヘスターにみるグレート・マザー性——」 pp. 13-21.

神徳昭甫「「ヴェール」と「透視」——『ブライズデール・ロマンス』における「シャーマニズム」——」 pp. 22-30.

井上博嗣「Thoreau と Hawthorne——出会いと交わりをめぐって——」 pp. 31-40.

Kazuko TAKEMURA, “The Discourse of Sexuality and the Confession Complex in *The Scarlet Letter*.” pp. 41-49.